



平成27年4月21日

NEWS RELEASE

各位

株式会社トライバルメディアハウス

トライバルメディアハウス、音楽マーケティングに特化した専門部署 「Music Communication Design 事業部 Modern Age(モダンエイジ)」を発足

デジタルマーケティング支援の株式会社トライバルメディアハウス(本社:東京都中央区 代表取締役社長:池田 紀行 以下 トライバルメディアハウス)は、2015年4月21日をもって国内でも類を見ない音楽マーケティングに特化した専門部署「Music Communication Design 事業部」、通称「Modern Age(モダンエイジ)」を発足いたしました。

MODERN  AGE

●「Modern Age(モダンエイジ)」の意味


MODERN AGE

「Modern Age(モダンエイジ)」は「現代」という意味を持ち、変わり続けるマーケティングを「現代」に最適化させたコミュニケーションデザインを考え、提案していくという意味を持っています。そして、音楽がどの「現代」においても鳴り続けていく、鳴り続けてほしいという願いも含んでいます。

●設立の背景

音楽の聴かれ方、購入のされ方、接し方などが多様化しています。CDからデジタルダウンロード、そしてストリーミングサービスへと形を変えつつあります。一方でライブやフェスなどの活性化といった体験への需要の高まりが増加し、音楽ビジネスは大きな変革期の中にあります。

同様に音楽とテクノロジーの融合なども加速していく中で、音楽の届け方、広げ方といった音楽マーケティングのあり方も多様な可能性を従来に比べて格段に広がっています。

トライバルメディアハウスは、これまでレーベル、プロダクション、プロモーター、音響メーカー、放送局、アーティストなどのマーケティングコミュニケーションを設計してまいりました。

そしてこの度、音楽マーケティングに強みを持つスタッフで構成し、音楽を今まで以上に生活の中心に据え、音楽業界だけでなく音楽を通してつながるリスナーや生活者、ブランドなどへ音楽やエンターテインメントコンテンツを通じたコミュニケーションデザインで貢献していきたいと考えています。

音楽に関わる統合コミュニケーションデザインを企画から制作、広告、PRまで一貫して提供する「Music Communication Design 事業部」通称「Modern Age(モダンエイジ)」は4月21日より本格的に始動いたします。

●ブランドと音楽マーケティングの融合

海外では音楽を媒介としたマーケティングの事例が次々と生まれています。Spotifyという音楽プラットフォームを活用したプレイリストマーケティングやアプリを通じたコミュニケーションデザインに始まり、フォード・モーターは音楽メディアPitchforkとロサンゼルスインディーズレーベルと組み、コミュニケーションを実施しています。また、JAY-Zと韓国サムソンのマーケティングプロモーションなどブランドと音楽を結びつけた事例は枚挙にいとまがありません。

同時に、世界最大のPRエージェンシー「Edelman」(エデルマン)の親会社DJE Holdingsは、世界大手エージェンシー「United Talent Agency」(UTA)とマーケティング・エージェンシー「United Entertainment Group」(UEG)と共に、エンターテインメントとブランドをマーケティングで結ぶジョイントベンチャーを立ち上げることを発表するなど、音楽やエンターテインメントを通じたマーケティングコミュニケーションは海外ではいち早く進んでいます。

●代表取締役社長 池田紀行のコメント

音楽やエンターテインメントコンテンツを取り巻く経営環境は、すさまじいスピードで変化を続けています。モダンエイジは、レーベルやアーティストなどに対する直接的な音楽マーケティングの支援だけでなく、一般消費財や耐久消費財、その他専門品や専門サービスなどのブランドマーケティングに、音楽やエンターテインメントコンテンツを効果的に組み合わせることで、従来のマーケティングコミュニケーションの限界を超えていくことをミッションとして設立した専門機関です。従来のマーケティングアプローチの限界を超えていく。モダンエイジと高野修平にご期待ください。

●部署概要

正式名称:「Music Communication Design事業部」

通称:「Modern Age(モダンエイジ)」

事業部長:高野修平(コミュニケーションデザイナー)

日本で初のソーシャルメディアと音楽ビジネスを掛けあわせた著書『音楽の明日を鳴らす-ソーシャルメディアが灯す音楽ビジネス新時代-』、『ソーシャル時代に音楽を“売る”7つの戦略』を執筆。メディア出演、講演、寄稿など多数。

2014年4月18日に3冊目となる『始まりを告げる《世界標準》音楽マーケティング-戦略PRとソーシャルメディアでムーヴ

メントを生み出す新しい方法-』を上梓。また、THE NOVEMBERS、蟲ふるう夜に、Aureoleのコミュニケーションデザイン、クリエイティブディレクターも担当している。M-ON番組審議会有識者委員。トライバルメディアハウスでは音楽／エンターテインメント以外のクライアントを担当するマーケティングデザイン事業部のグループリーダーも兼務する。

●高野修平のメディア実績

<ラジオ>

- ・J-WAVE PRIME FACTOR「Spotifyは音楽の楽しみ方をどう変えるのか？」
- ・J-WAVE TOKYO MORNING RADIO「SXSWと未来の音楽」
- ・象の小規模なラジオ「THE NOVEMBERS × 高野修平」

<取材／インタビュー／対談>

「音楽ビジネスには何が足りない？ 高野修平 × THE NOVEMBERS」

<http://www.cinra.net/interview/201412-thenovemberstakano>

「THE NOVEMBERSとコミュニケーションデザイナーが仕掛けた、新たなライブの在り方」

<http://www.cinra.net/review/20141217-thenovembers>

「なぜ日本では「音楽マーケティング」が語られてこなかったのか？」

<http://www.cinra.net/interview/201406-takanojaykogami>

「浅田祐介 × 高野修平」

http://www.rittor-music.co.jp/kasegu/asada_takano.html

「新しい音楽マーケティングとは？」

<http://ototoy.jp/feature/index56.php/2014050805/0>

「音楽の明日を鳴らす-ソーシャルメディアが灯す音楽ビジネスマーケティング新時代-」

<https://www.musicman-net.com/focus/27.html>

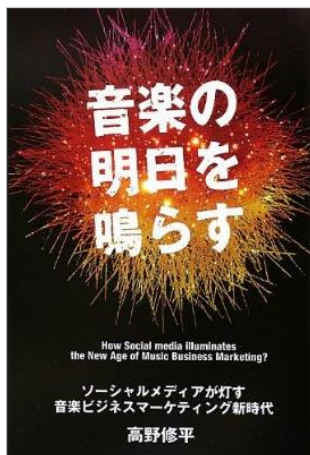
※これまでのメディア出演実績の一部です。

<カンファレンス>

- ・音声連主催東京工科大学講演
- ・尚美学園大学特別講義
- ・YEBISU MUSIC WEEKEND
- ・THE BIG PARADE
- ・英国大使館講演
- ・京都精華大学講演
- ・Entertainment × Twitter Conference
- ・音楽どうする会議
- ・英国大使館主催 Wired 「これからの音楽」
- ・Social Media Week

※これまでの登壇実績の一部です。

●トライバルメディアハウスの音楽マーケティング書籍



■トライバルメディアハウス会社概要

- (社名) 株式会社トライバルメディアハウス <http://www.tribalmedia.co.jp/>
(本社所在地) 東京都中央区銀座二丁目15番2号 東急銀座二丁目ビル
(代表者) 代表取締役社長: 池田 紀行
(資本金) 3,700 万円
(事業内容) デジタルマーケティングコンサルティング事業
インタラクティブプロモーション事業
WEB広告事業
マーケティング支援ツール開発・販売事業
(主要株主) ネットイヤーグループ株式会社及び当社役職員

<本リリースに関するお問い合わせ先>
株式会社トライバルメディアハウス 広報 : 八木
TEL: 03-6369-0800 Mail: info@tribalmedia.co.jp
URL: <http://www.tribalmedia.co.jp/>